

平成30年度 水産業普及指導員現地研修会

平成31年 2月18日(月)

北薩地域振興局林務水産課出水市駐在

水産業普及指導員が毎年、持ち回りで実施している現地研修会が今年度は北薩地域振興局管内で開催された。

今回の研修テーマは、漁業後継者の確保対策、特に各管内の漁協青壮年部の年齢構成及び水揚状況等の現状分析を行った上で、どれだけの漁業後継者が残っているのか、その限られた漁業後継者が経営者としてスムーズに引き継いでいける環境作りには何が必要なのかについて各振興局・支庁が持ち寄って報告・討論を行った。

まずは開催地として、出水市駐在から管内の漁協青壮年部の年齢・漁業種類構成状況のほか、管内の基幹漁業となっている棒受網漁業と吾智網漁業の事例を報告した。この後、各振興局・支庁から同様の報告がなされたが、傾向として漁業権漁業はともかく知事許可漁業の許可統数が減少しているのが際立っていた。

また、熊毛・奄美の離島では、瀬物や回遊性魚類を漁獲対象としている一本釣漁業が主要な漁業となっているせいか、際だった後継者不足とはなっていないかった。

翌日は、出水市管内での生産現場の視察見学ということで、不知火海での漁獲物を水揚場で見学のほか、現在が盛漁期であるコウイカ籠網の漁具・漁法についての研修も行った。その後は、県内唯一のノリの生産地であることから、海苔集荷施設に移動し、漁協職員から集荷状況や格付けの仕方等について説明を受けた。

最後に天恵海苔グループの中心人物である島中良夫氏の加工施設に移動し、ノリの摘採から乾燥機に入れるまでの工程やスサビノリとアサクサノリの違いについて、食べ比べを交えながらの研修を行った。

県内唯一のノリの生産地での研修を終えて、今後、ワカメやヒトエグサ等の海藻養殖にも濃密な経営指導を期待するとともに最重要課題である漁業後継者確保対策について、各振興局・支庁だけでなく、水産振興課としての新たな支援を期待したい。

1 日 時……………平成31年 2月14日(木)14:00~15日(金)12:00

2 場 所……………北薩地域振興局出水庁舎, 北さつま漁協出水支所ほか

3 参加者……………水産業普及指導員12名

4 研修内容等

(1) 1日目 / 2月14日(木)14:00~17:30

漁業後継者(青壮年部)及び漁業就業者確保対策について

~現状と課題とその具体的な対策について~/ 7振興局・支庁別に報告

(2) 2日目 / 2月15日(金)09:00~12:00

北さつま漁協出水支所水揚げ状況, 海苔集荷施設, 海苔加工施設等視察見学

